Japanese Patent Application Laid-Open No.50-3683

DT09 Rec'd PCT/PTO 25 AUG 2005

(19) Japan Patent Office

Gazette of Patent Laid-Open Publication

(11) Patent Laid-Open Publication No. S50-3683

(43) Date of Laid-Open Publication: January 16, 1975

(21) Patent Application No.S48-52095

(22) Filing Date: May 12, 1973

Request for Examination: Not requested

(Total pages: 7)

5

10

Internal Reference No. (52) Japanese Classification 6236 23 111 F2

6236 23 111 F7

7348 23 111 F15

May 12, 1973

Mr. Yukio Miyake, Director-General of the Patent Office

- 1. Title of the Invention: Photoelectric Measurement Method for Object Fine Section and Spot Light Generation Device
- 2. Number of Inventions Described in Scope of Claim for Patent:

20 3. Inventor:

3

Address: c/o Konishiroku Photo Industry Co., Ltd.

1 Sakura-machi, Hino-shi, Tokyo

Name: Hiroshi Hara (and one other)

4. Applicant:

Address: 1-10 Nihonbashi-Muromachi 3-chome, Chuo-ku,
Tokyo 103

(127) Name:

Ryosuke Nishimura, Representative Director

of Konishiroku Photo Industry Co., Ltd.

5. Attorney

Address:

c/o Konishiroku Photo Industry Co., Ltd.

1-10 Nihonbashi-Muromachi 3-chome, Chuo-ku,

Tokyo 103

Name:

Seiji Suzuki

Telephone: (270) 5311

Formality Examination (illegible)

48-052095

10

15

20

25

5

50-3683

Specifications

- 1. Title of the Invention: Photoelectric measurement method for object fine section and spot light generation device
 - 2. Claims
- (1) A photoelectric measurement method for an object fine section, comprising the steps of:

creating a spot light using a fine hole of a light blocker having an anti-reflection mechanism in a hole wall;

illuminating the fine section of the object using said spot light; and

directing light reflected from said fine section or light transmitted through said fine section to a photoelectric converter using a light guiding tube to perform photoelectric conversion.

(2) A spot light generating device used for photoelectric measurement for an object fine section, wherein an irradiation source is inserted into an irradiation source insertion hole of a light blocker equipped with a fine hole for spot light generation having an anti-reflection mechanism in a hole wall and said irradiation source insertion hole leading to said fine hole.

5

10

(3) A spot light generating device used for photoelectric measurement for an object fine section, wherein an irradiation source is inserted into an irradiation source insertion hole of a light blocker equipped with a fine hole for spot light generation having an anti-reflection mechanism in a hole wall, a shutter member insertion hole which intersects with said fine hole, and said irradiation source insertion hole leading to said fine hole, and wherein a shutter member is inserted through the shutter member insertion hole.

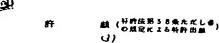
Translator's Note:

5

4







昭和48年 上月 12日

特許庁長官 三 宅 幸 夫 咸

/ 発明の名称

カ 94 94 7 39 デンソ 97 94 94 9 切体の 細節の 光 4 周 足 方 法 お よ び スポット 光 条 4 2 9 度 スポット 光 条 年 委 度

2 特許耐水の範囲に記載された発明の数

2 希 名 者

居所 東京都日野市さくら町/省地 小西六写真工英株式会社内

氏 名

LET.

(ほか/名)

《 存折出威人

(/03) 住所 東京都中央区日本傾望町3丁目/番地/0 (/27)名称 小西六写真工業株式会社 代表取時代 近 計 報 介

(/03) 東京部中央区日本版園町J丁目/ · · · · / · 0 小西六写真工業像式会处内

戊名

方英 (511)

新 未 请 着 《结 (270)53//

48-052095

明 細 書

発明の名称

物体の細部の光電側足方法シよびスポット光発生装置

特許請求の範囲

- (1) 欠股に反射防止機構を有する選光体の細穴によってスポット光をつくり、 終スポット光で物体の細部を照明し、該細部による反射光または 該細部を透過した透過光を光導管によって光電 変換器に導いて光電変換することを特徴とする物体の細部の光電側定方法。
- (2) 穴壁に反射防止機構を有するスポット光発生用の細穴かよび鉄細穴に続く照射減候込穴を穿設した遮光体の鉄照射減接込穴に照射類を嵌込んだことを特徴とする物体の細部の光電側定に用いるスポット光発生装置。
- (8) 穴壁に反射防止機構を有するスポット光発生用の細穴、終細穴と交叉するシャッター部材類 通穴、および上記のスポット光発生用の細穴に 続く照射傾嵌込穴を穿設した過光体の照射顔嵌

19 日本国特許庁

公開特許公報

①特開昭 50-3683

❸公開日 昭50.(1975)1 16

②特願昭 48-52095

②出颠日 昭48.(1973) 5.12

審査請求 未請求

(全7頁)

庁内整理番号

50日本分類

6236 23 6236 23

/// F2

7348 23

111 F15

PP04-0003 -00.WO-HP

04, 4,20

SEARCH REPORT

込穴に照射原を嵌込み、シャッター部材挿通穴 にシャッター部材を挿通したことを特徴とする 物体の細部の光質側定に用いるスポット光発生 装置。

・発明の詳細な説明

本発明は、物体の細部、特に印刷した紙上の印刷工程管理用の酸小マークの光配制定方法かよび その方法に用いるスポット光発生装置に関するも のである。

一般に、印刷機においては、印刷の進行に従つてインクの補給量を消費量に応じて加減する必要がある。そのため、印刷規場では、絶えず印刷直接の紙を収出して印刷機関を視覚によりチェックし、インク補給パルブを調整している。

この視覚による印刷機度のチェックには熱硬が必要とされる。

本発明は、何らの熱練も必要とせず、 電気的に 印刷機関を側定する方法を提供するために成され たものである。

本発明は、(1)穴壁に反射防止機構を有する遍光

- 1 -

体の円筒形の組穴によつてスポット光をつくり、 鉄スポット光で物体の細部を照明し、鉄細部によ る反射光せたは鉄線部を透過した透過光を光導管 によつて光電変換器に導いて光電変換することを **券徴とする物体細部の光電例定方法。(II)穴壁に反** 射防止機構を有するスポット光発生用の細穴及び 数細穴に続く照射深嵌込穴を穿設した遮光体の数 照射原供込穴に照射線を嵌込んだ上記の光電側定 方法に用いるスポット光発生装置、および、個穴 世に反射防止根標を有するスポット光発生用の細 穴、肢細穴と交叉するシャッター部材挿通穴、♪ よび上記のスポット光発生用の網穴に硬く照射線 嵌込穴を穿設した遮光体の照射療儀込穴に照射原 を嵌込み、シャツター器材料温欠化シャツォー部 材を挿通した上記の光電網定方法を用いるスポッ ト光発生装置に関するものである。

先ず、本発明の物体の調部の光電測定方法の原理を図面によつて観明する。

本発明の方法にかいては、第/図に示すように 進光体/の、大概はに反射防止機構(例えばねじ

- 5 -

て殆んど組孔 4 を通通しないから、物体 4 の銀部 7 の上に鮮明な展明スポットをつくることができる。 当大陸 3 には免扱収を高めるために登集、表面処理、系アルマイト処理等の様々の方法で反射 防止処理を行なりことが譲ましい。

放展別スポットは平行先によつてつくられているため、細部7ポ上下に搭載しても、大きさが使わらない。

限明スポットは光電機定する数線部でよりも小さくするのが望ましい。展明スポットを移動しつつ数線部でを光電機定する場合は、解3回のように、展明スポットBpが物体4の線部でよりも小さいくなる程光電変換器の出力 V が一定である時間では長くなり、数銀部での光電研定の棺底が向上する。

次に、本発明の方法かよびスポット光発生報能を印刷工程管理用の数小マークの光式側定に使用した本発明の契約例を図面によつて説明する。

印刷の終了した紙/3上の同期用数小マーク/5を光電側足する装置は、スポット光発生装置/6

山)3を有する円筒形の細穴4を、照射限5で展明してスポット光をつくり、はスポット光で助体4の細部7を照明し、玻細部7からの反射光を光端管(例えば光学機構束)8で光電変換器9に導いて光電変換する。「

物はるが透明体の場合は、該物体もの細部1を透過した透過光を光導官10で光電変換器11に導いて光電変換器であると

物体もの細部?を必要などきだけ瞬間的に無明 する場合は、無射策まと細部1の間にシャッター ノスを取付ける。

物体もの収数部所の細部を光電測定する場合は、 第12回に示すように、(1)照射原ま、(1)反射防止根 #3のある細穴 4、(1)光導質 8 または 1 0、かよ び(M)必要な場合シャッター 1 2、を失々細部 7 の 数だけ使用することができる。

・資訊対抗なCは豆豆球等の通常の光原の外に一端に光原を設ませた光導管の他環等を使用する。

欠級はに反射防止機構はを設ければ照射根をか ちの光が反射防止機構はに当つた場合、吸収され

かとび太陽電池Bbから構成される。スポット光亮 生磁盤!6 は、問題用数小マータ!ままりも極が 小で且つ大性に反射防止機構!9 の名 服射原砂の 概欠 2 の 1 数 細穴 2 の に連絡している 服射原便の 代 2 ! 1 かよび 2 個の光帯管鉄 3 大 2 3 で を穿散した細光体 2 4 の 無射原 鉄 3 大 3 で まに接続する 無射原 3 2 5 で 鉄 3 3 で 2 2 1 に光端管 1 9 の 先端を 嵌込み、 光端管 嵌込穴 2 3 1 に光端管 1 8 の 先端を 嵌込んで成るものであ る。

印刷機度制定用数小マーク/《を光電測定する 装置は、スポット光発生装置 26 かよび光電子 増倍管 Pm から構成される。スポット光発生装置 26 は、放小マーク/419も極が小で且つ欠 続に反射防止根構 39 のある円間形の紹介 30 に 施紹介 30 に連絡している照射環紙込大 3/;電 磁石 K を 低込む穴 32; に 低石 仮込穴 32に 返 格し且つ細穴 30と 父叉する ゆ 状のシャッター 応 材 ゆ 近 穴 33; 及び 2本の 光 本 留 27 かよび 28 の 天 4 を 低込む 穴 3 4 かよび 3 5 を 穿 設 し た 遮 先 尚、図面中、A.およびA.は増幅器、La は対数増幅器、Cv はA-D 変換器、 Drv はドライバー、 Wは波形整形器、 Cpu は小型コンピュータ、 Con はパルプVaを関節する制御委員であっ。

紙/3上の同期用強小マーク/5の先端 a がスポット光発生装置/6の細穴30の下を通ると、それまで高レベルにあつた太陽 電池 8bの出力は低レベルになる。この出力を増幅器 Aで増幅し、波形竪形器 W で波形竪形する。波形竪形器 W の出力

- 7 -

尚、上記の実施例におけるスポット光発生報置 26の電磁石をおよび鉄円板44を使用せずに、 シャッター部材42がシャッター部材42の長手 の中心軸を中心にして回転するようにしてもよい。

上記の実施例において、紙!3に後小マーク!4を頂数個的けて複数個のパルブを制御する場合は、スポット光発生發置26と制御装置でのを失々微小マーク!4と同数個使用する。そして放形整形器Wと各スポット光発生装置26の電磁石Kとの間の接続かよび小型コンピュータでpuと各パルブVaを開める。間の無対を第6図のように変更することができる。このように構成すると紙!1を高速で移動させる場合に、同期用被小マーク!3がスポット光発生装置!6の細穴20の下を通る関係になーク!4に対応するパルブVaを観整することができる。

本発明の物体の調料の光質翻定方法では、反射 防止破積のある紹介によつてつくつた平行光で密 特別 四50-3683 (3)をドライバー Drv を通して電磁石 K 化送つて気磁石 K を作動させる。それと同時に、A-D 変換器 Cv が追従を始める。

電磁石 R が作動すると鉄円板 4 4 が引附けられて細穴 4 1 が光路に入る。その結果、光電子増倍 管Pmが強小マーク 1 4 からの反射光を受光する。

尤電子増倍管Pmの出力は、増幅器 Ai、対数増幅器 La、A-D 変換器Cvを経由して小型コンピュータ Cou に読込まれる。

同期用級小マーク/ちの後端 b がスポット光発生装置/6の細穴20の下を通ると、太陽電池8bの出力は低レベルから高レベルに変り、電磁石 K から鉄円板 4 4 が離れる。そして、シャッター部材 4 2 が環旋ばね 4 3 の 復元力によつて復帰し、細穴 4 / が光路から離れた場所に置かれる。 又対数変換器 Laの出力に違従していた A-D 変換器 Cvが保持され小型コンピュータに読込まれる。

小型コンピュータ Cpu は、 A-D 変換器 Cvからの 出力が規単値から外れた場合に、パルプVaを調節 する調御装置 Con に創御命令を送る。

- 8 -

図面の簡単な説明

第/図かよび第2回は、本発明の物体の細部の 光電測定方法の原理を示す図、第3回は物体の細 部及び照明スポットの大きさと光電変換器の出力 との関係を示す図、第4回は本発明の一実施例を 示す図、第5回は紙/Jの平面図、第6回は本発 明の他の実施例を示す図である。

1、24年上び36…適光体;3、19年上び29…反射防止根標;4、20年上び30…細穴;5、25年上び37…照射源;6…始体;7…物体の細部;8、10、17、18、27、25以28…光深質;9年上び11…光電変換

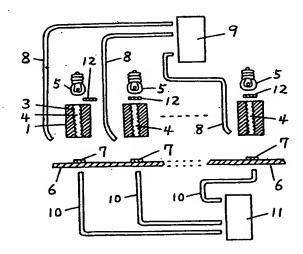
- 9 -

器;/3…田岡した坻:/4…印闽磯で御定用 ダ小マーク;/5…四切用吸小マーク;/6か よび26…スポット光発生装潢:2/かよび3/ …照射原成込穴;22、23、34かよび35 …光導音板込穴;33…シャッター部材挿油穴; 42…シャッター部材;Pm…光曜子増倍管; 8b…太陽電池

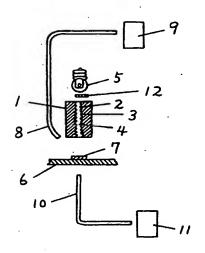
将許出祖人 小西六写真工类珠式会社

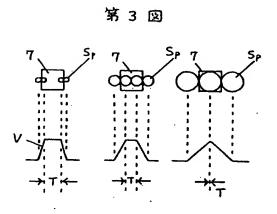
代理人 给 木 博 司

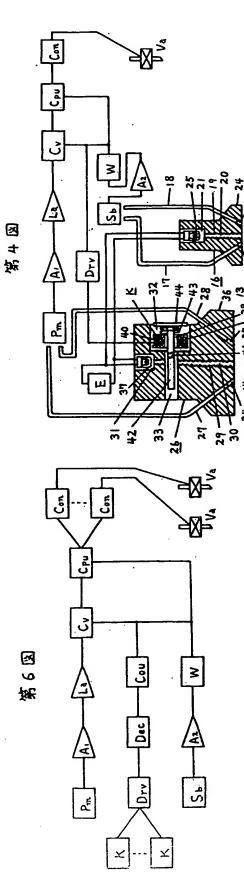
第2回



特別 昭50-3683 (4) 第 / 図







居所 東京都日野市さくらず / 番地 小弦光写真 ご葉吹式会社内 氏名 山 本 韶 作

手 捷 補 正 音

野和49年

宣文

分許学長官 奔蓋英雄 殿

1 事件の表示

昭和 4 8年特許和才 5 2 0 9 5

2. 発明の名称

- 物体の無部の先電測定方法

- およびスポット光発生装置

3 現底をする者

事件との関係 特許出願人

(103) 供所 東京都中央区日本株室町3丁引1番地10

(197)名年 水西大学算工業存式会社

at to 代及联轉役

4. 代理人

(108) 据所 東京都中央区日本推案町3丁目 (香地) 0

小西六写真工浆株式会社内

鈴木

5. 補正により増加する発明の数

「(ル)」と訂正する。



- 1 -明脳おかる質が9行、「(目)」とあ ム 計正の対象

節世の「特許請求の範囲れ記載された発明の数 の復士、明報者の「特許請求の額則の収」、およ び「発明の詳細な説明の概」

難者を別紙の通り訂正する。

明細母の特許に思り紅鼬の物を別紙の通り補

明細費か3頁か5行の「方法、」と「(I) 」 との形に次の文章を加入する。

「(』)穴標に反射防止微機を有する複数のスポ ット光発生用細穴と照射能とからつくられる複数 のスポット先の光野を聞きに当野せしめることに より物体の複数値形の細節を顧照にスポット光で 照明し、鉄複数個所の各・の反射光または透過光 を該複数個所の各々に受賞した光導管によって光 佐変換器に導いて順機に光電変換することを特徴 とする物体の細部の光電池定方法。」

助船費才3頁才5行、「(目)」とあるを 「(脂)」と訂正する。

- 2 -

規定による 寄許出面

昭和48年5月12日

特許庁長官 三宅幸夫

1 発明の名称

ブッタイ サイブ コウデンソタテイホウホウ 初 年 の 細 邱 の 光 電 副 足 方 法 お よ び コクヘフセイソクテ スポット先発生整度

特許請求の範囲に配載された発明の数

名岩

東京都日野市さくら町1 コニショクシャンンコネキョウ コ エショクシャンショウ4m9 小西六写真工業株式会社内

氏 名

(たか1名)

4 特許出額人

住所 コーショクセンショクキウ 小西六写真工業株式会社 ニシームラ 9mg 代後収粋役 西 村 龍 (127)名 称

5. 代 琤 人

(105) = ホンパンムロマテ 東京都中央区日本衛宝町 3丁目1番地10 コニシロテンチンシコグロラ 小西六军真工衆株式会社内 黑筋 木 氏 名 液

電話 (2:70)5511

4 込附書類の目録

(1) 阴 相 響 1 域 22 图 面 1 域 (3) 委 任 状 1 域 (4) 騎 響 純本 1 域

2 前配以外の発明者

居所 東京都日野市さくら町 1 番地 コニレッタレマレンコウマロウ 小西大写真工家 株式会社内 キャー・キャー 花 作

位 大型に反射防止機構を有するスポット光発生用の細穴、 紋細穴と交叉するシャッター部材挿通穴、 および上配のスポット光発生用の細穴に続くに関射顕微込穴を穿設した遮光体の照射顕微込穴に 服射顕を 飲込み、シャッター部材挿道穴にシャッター部材を挿通したことを特徴とする物体の細部の光彩調定に用いるスポット光発生装置。 特許請求の範囲

一次生に反射的止效的を有する遮光体の遮穴によってスポット先をつくり、該スポット先で物体の細部を照明し、該細部による反射光または該細部を透過した透過先を先導管によって光電変換器に添いて光電変換することを特徴とする物体の細部の光電筋定方法。

居所·変更屆

昭和49年 9月 4日

特酰庁長官 斉藤英雄 殿

圃

1 事件の表示

即和48年特許願第52095 号

2. 発明の名称

物体の細部の光電測定方法 およびスポット光発生複型

3. 居所を変更した者

事件との関係 代 理 人 チュウオウク ニ ホンペムロマチ 旧居所 東京都中央区日本橋室町 3丁目1番地10

小西六写真工菜株式会社内

新居所 東京都日野市さく/5世 1600

小西六写真工菜块艺

氏名 鈴木

4. 代 理 人

居 所 東京都日野市さくら町 1 番地 小西六写真工業株式会社内

氏名 鈴木清司